

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第 9 回 石清尾山古墳群調査会議
開催日時	平成 2 8 年 8 月 5 日(金) 1 3 時～1 7 時 (稲荷山北端 1 号墳・稲荷山 1 号墳の 2 基の古墳の調査を現地視察し、その後、埋蔵文化財センターで会議)
開催場所	高松市埋蔵文化財センター 2 階 講座室
議 題	議題 1 稲荷山北端 1 号墳の調査について 議題 2 稲荷山 1 号墳の調査について 議題 3 平成 2 8 年度の事業計画について 議題 4 調査整備会議の設立について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	丹羽会長（香川大学名誉教授）、大久保委員（徳島文理大学教授）、森下委員（大手前大学教授）、山下オブザーバー（県教委文化財専門員）
欠 席 者	なし
傍 聴 者	0 人（定員 1 0 人）
担当課及び 連絡先	文化財課文化財調査係 8 2 3 - 2 7 1 4

### 審議経過及び審議結果

#### 審議経過及び結果

議題 1～4 を設定し、主に委員から以下の内容の指導・助言を得た。

#### 議題 1 稲荷山北端 1 号墳の調査について

資料に基づき、事務局から主に以下の内容の説明を行う。

- ・現在のところ、北側方丘部（双方中円墳という真ん中に丸、両側に四角がつく古墳の形のうち、北側の四角の墳丘）に 4 箇所調査区を設けて、7 月下旬から調査している。
- ・北側方丘部西側面の 2 箇所調査区で、石列（石材を列状に並べた構造）を検出した。石列の前面には、バラス状の石材等が多数分布している。これは、上方から転落した石材か、元々敷いた石材か、現時点では判断できない。継続して調査が必要と考えられる。
- ・北側方丘部の前端（北側の古墳の端）と推定する箇所に設定した調査区では、現時点では石列は明確に確認できていない。
- ・会議後の調査の予定は、北側方丘部西側面の調査区を優先して実施する。

#### （委員からのコメント等）

- ・北側方丘部西側面の石列は、石列の後ろ側がどのような石材で造られた構造か、十分に確認すること。
- ・古墳が造られた年代を決める手掛かりとなる遺物などの情報を、丁寧に収集すること。

#### 議題 2 稲荷山 1 号墳の調査について

資料に基づき、事務局から主に以下の内容の説明を行う。

- ・掘削する範囲を最小限度にすることを前提として、古墳の中の 3 箇所で調査を行うことを計画している。

## 審議経過及び審議結果

- ・昨年度の測量調査で石列を検出した2箇所調査区を設定した。その調査区から調査を開始する。

### (委員からのコメント等)

- ・古墳の規模を把握する程度の調査で十分なのではないか。
- ・稲荷山北端1号墳の調査と同時に進めるため、どのように工程を組んで調査を進めるのか、十分に検討しておくこと。どちらかと言えば、稲荷山北端1号墳の調査に時間を割くことができるように計画した方が良いのではないか。

### 議題3 平成28年度の事業計画について

資料に基づき、事務局から主に以下の内容の説明を行う。

- ・2基の古墳の調査以外に、調査整備会議の設立・運営、整備計画の事務局案の作成、稲荷山地区の指定同意に向けた関係機関との協議を計画している。

### (委員からのコメント等)

- ・関係機関から指定同意を得るためには、協議に時間を要すると考えられる。その点を踏まえたスケジュールリングをする必要がある。
- ・指定同意とは別に、稲荷山地区の古墳と峰山地区の古墳との関係は整理しておく必要があると考えられる。
- ・指定同意にあたり、関係機関は遺跡の価値（遺跡の重要性の説明）についての説明を求めてくると考えられる。

### 議題4 調査整備会議の設立について

資料に基づき、事務局から主に以下の内容の説明を行う。

- ・調査整備会議を設立し、内部に調査・整備の部会の設置を計画している。
- ・既存の調査会議を改変して設置する。目的は、稲荷山地区の指定同意を得るには、史跡整備の基本的な考え方の提示が必要となり、そのため、整備に関する意見聴取する場を設けるためである。また、整備部会の一部の委員にも発掘調査中の現地を見ていただく必要があるため、この時期の組織改変を計画している。
- ・調査整備会議の設立は、本年10月1日を目標に調整している。
- ・整備部会の開催は、整備の計画を進める段階からと考えており、当面は調査部会の開催のみとなる。

### (委員からのコメント等)

- ・稲荷山地区の調査途上の現段階で、会議の改変をすることは問題ないか。
- これまで調査会議で御指導いただいた内容は、会議の名称は変わるが、引き続き、調査部会の中で御指導いただく予定である。このため、問題ないと考えている。（事務局回答）